

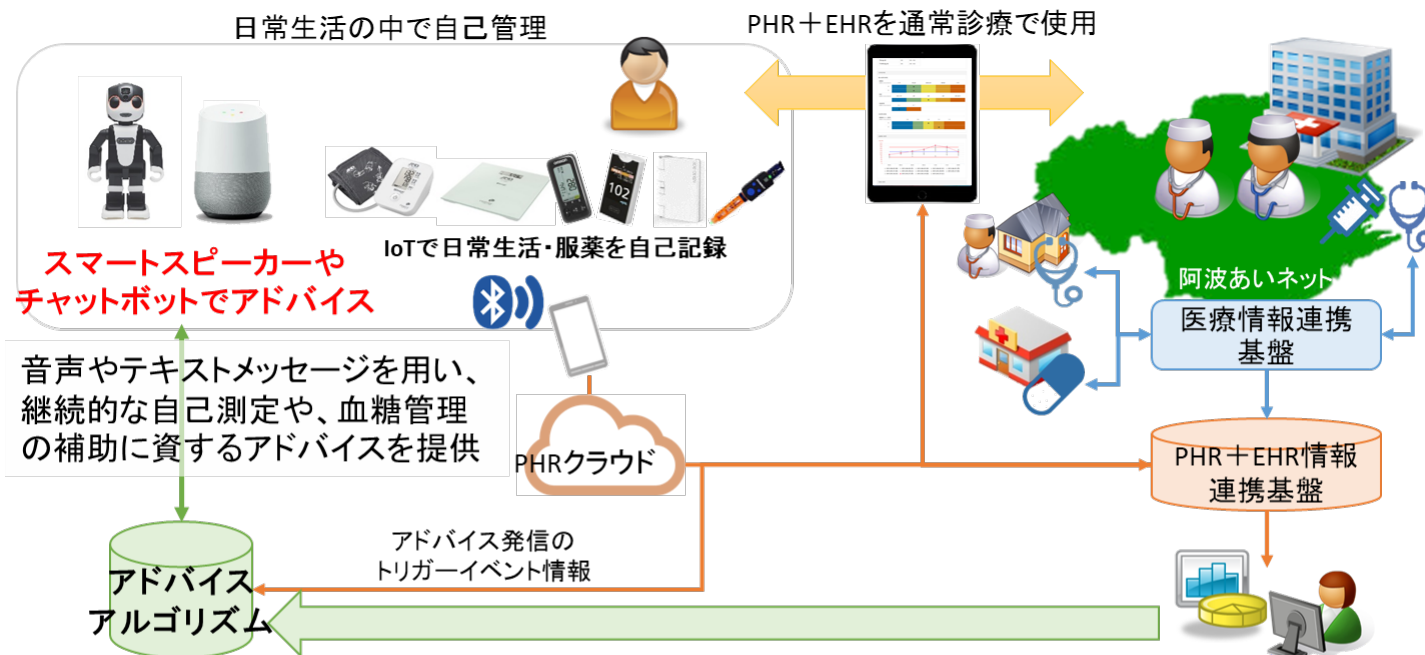
「IoT とスマートスピーカーを活用した個別化糖尿病自己管理支援システムの開発」の概要

研究代表者 : 松久宗英 (徳島大学)
 参画研究機関名 : 徳島大学 先端酵素学研究所 糖尿病臨床研究開発センター
 研究開発期間 : 平成30年度～平成31年度

糖尿病患者は1,000万人を超え、増大し続けている。糖尿病治療には服薬・注射だけでなく、日常生活における糖尿病療養が必要だが、治療目標値達成率は6割程度とされる。

(研究目的)

本研究は、日常生活における糖尿病療養を必要とする糖尿病患者向けに、IoT 技術を用いた自己管理のための種々の機器および EHR (Electronic Health Record) の情報を統合して可視化する PHR(Personal Health Record) に、スマートスピーカーによる行動変容支援情報をアウトプットする個別化糖尿病自己管理支援システムを開発する。本システムを活用した糖尿病療養を行うことで、年齢や ICT リテラシーにかかわらず幅広く多くの糖尿病患者の糖代謝管理及び体重の改善につなげ、糖尿病合併症の予防を達成することで本人の QOL 向上、医療費の削減につなげられるものとする。



糖尿病患者の自己管理を見守り・支援 個別化されたアドバイスを登録・配信

- 1年目 糖尿病治療ガイドライン、個別治療目標に基づくアドバイス・アルゴリズムの策定と実装
- 2年目 1年目のアドバイス・アルゴリズムを用いた臨床研究の実施と、アルゴリズムへの評価結果の反映

PHR+EHRの統合的分析

治療への取組状況によって、中断リスクを予測し、中断防止のアドバイスに繋げる

- ・運動記録
- ・服薬記録
- ・自宅バイタル記録
- ・病院検査値